

マーケットの動き（2026年3月9日～3月13日）

先週の為替市場は、前週末比で米ドルは対円で上昇（円安）しました。

中東情勢の緊迫化を受け、安全資産である基軸通貨のドルが選好されたほか、インフレ懸念から米利下げ観測が後退したこともあり、ドル買いが優勢となりました。一方、エネルギー資源の大半を輸入に依存する日本では、原油高が経済の下押し要因になるとの懸念が根強く、円は売られました。

ユーロは前週末比、対円でほぼ横ばいだった一方、対米ドルでは下落しました。

投資環境見通し（2026年3月）

米ドル、ユーロはともに円に対して強含み

米ドル：米国財務長官は、円安ドル高が進んだ1月下旬にレートチェック（中央銀行などが外国為替市場の参加者に相場水準を尋ねること）を行ったことを明らかにしました。円安の動きは小休止しているとみられますが、日本政府による財政政策が円安圧力につながるとみられ、ドルは円に対してレンジ内で強含むとみています。

ユーロ：日米通貨当局が円安に対して警戒感を強める一方、回復基調にある域内景気がユーロ高要因となり、日本政府による財政政策が円安圧力につながるとみられることから、ユーロは円に対してレンジ内で強含むとみています。

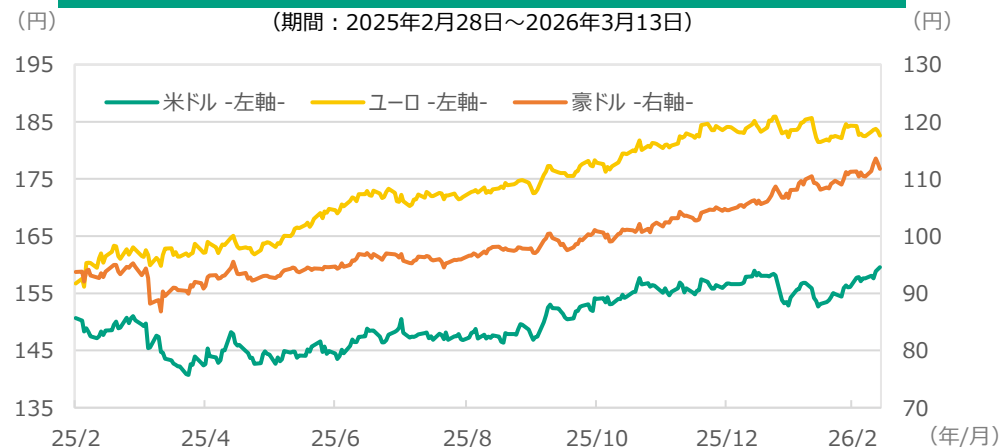
	3月13日	変動幅（円）			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
米ドル/円	159.57	1.97	6.44	11.89	11.86
ユーロ/円	182.61	0.13	1.15	9.43	22.23

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日（休日の場合は前営業日）までとします。

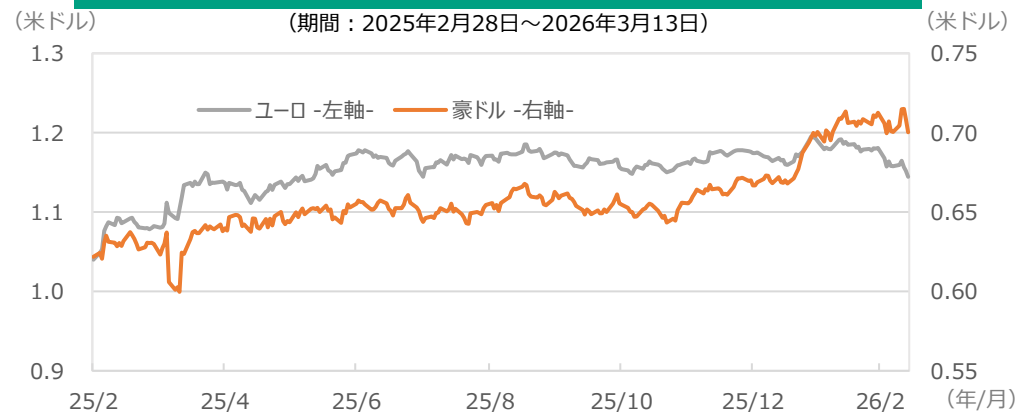
※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202603_outlook.pdf

為替レートの推移（対日本円）



為替レートの推移（対米ドル）



※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客様の投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客様自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>